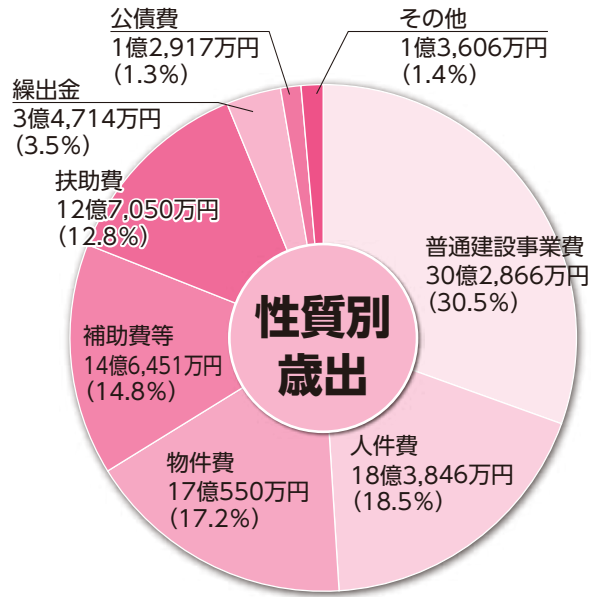


一般会計歳出

性質別歳出

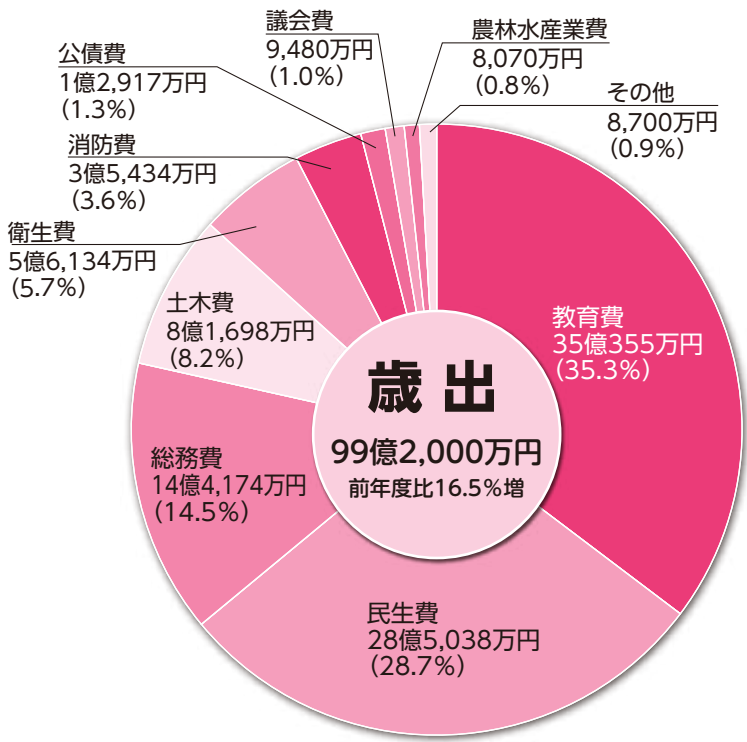
(経費を経済的性質に応じて分類)



決算統計の考え方にに基づき性質の区分を一部移動させて計上しています。

目的別歳出

(経費を行政目的に応じて分類)



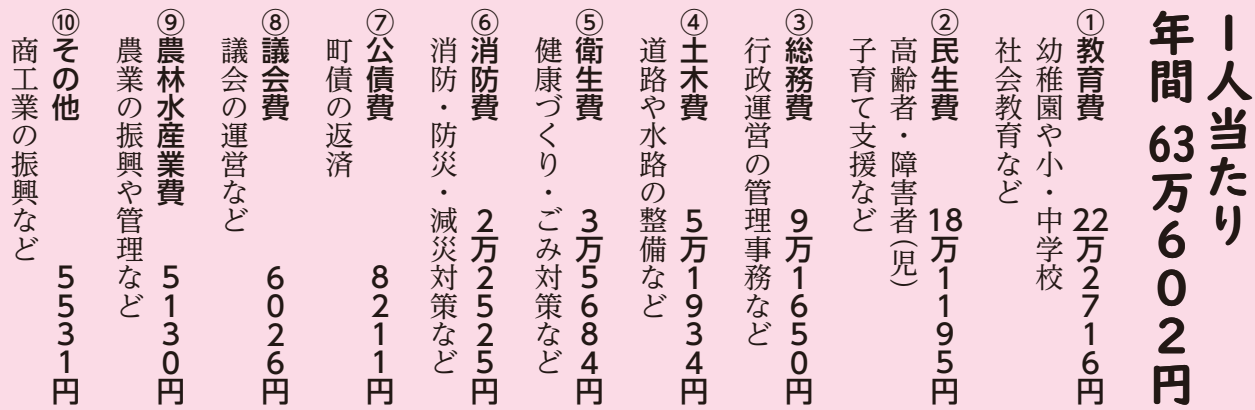
※(%)は構成比を示しています

中学校整備事業など歳出総額99億2,000万円 過去最大

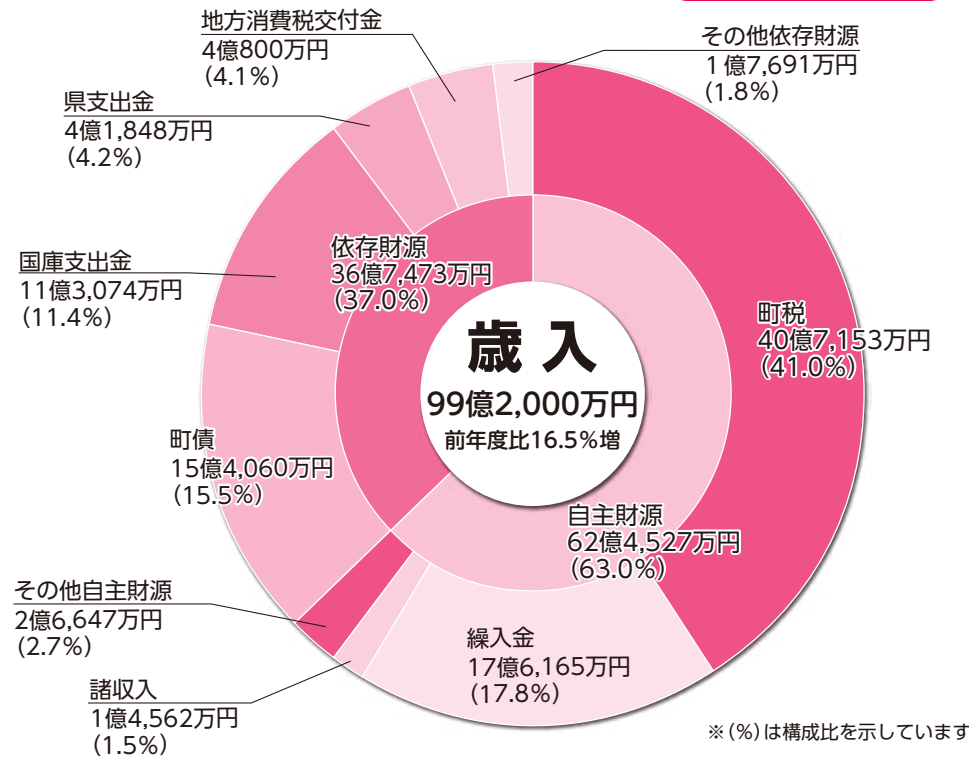
歳出を目的別に分類すると、小・中学校、社会教育などに使う教育費が最も多く、35億355万円と歳出全体の35.3%を占めています。次に、障害がある方や高齢者への福祉、子育て支援などに使う民生費が28億5,038万円、電算システムや庁舎管理といった全般的な管理事務などに使う総務費が14億4,174万円と続きます。歳出を性質別に分類すると普通建設事業費や人件費及び物件費が歳出全体の66.2%を占めています。前年度から中学校整備事業や地区公民館長寿命化改修事業等により普通建設事業費が70.9%増、元利償還金などの公債費が54.0%増となっています。

歳出額を町民1人あたりに換算すると、1人あたり年間63万602円(※R7.3.1人口 15,731人で計算)の経費で町政を運営することとなります。

町の予算は暮らしの中でこんなところに使われています



一般会計歳入



※(%)は構成比を示しています

町税0.2%減、繰入金82.5%増、町債93.2%増

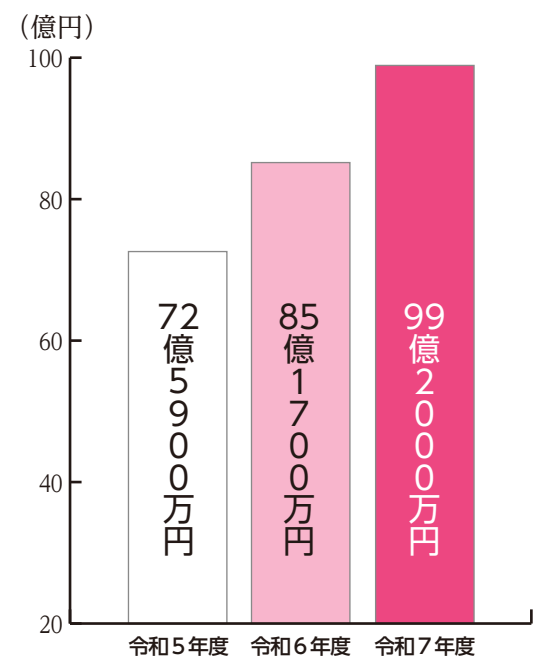
歳入は町民のみなさんに負担していただく税金や使用料などの自主財源と、国や県からの負担金や補助金などの依存財源に分けられ、自主財源の比率が高いほど、自主的な財政運営ができることとなります。当町の割合は、自主財源が全体の63.0%を占めており、昨年度から1.3ポイント減少しています。自主財源の中で最も多いのは、町民税や固定資産税などの町税が40億7,153万円、次いで基金からの繰入金(一般家庭における預金の取崩し)が17億6,165万円となりました。

依存財源は、中学校整備事業や地区公民館長寿命化改修事業等の財源としての町債が15億4,060万円と最も多く、次いで国庫支出金が11億3,074万円となりました。

令和7年度の会計別当初予算額と対前年度比

会 計 区 分		当初予算額(万円)	前年度対比率(%)
一 般 会 計		992,000	16.5
特別会計	国民健康保険特別会計	133,490	△3.8
	事業勘定	117,340	△4.8
	診療施設勘定	16,150	4.3
	介護保険特別会計	88,140	2.2
	後期高齢者医療特別会計	22,160	4.1
	小 計	243,790	△1.0
合計(一般会計＋特別会計)		1,235,790	12.6
企業会計	水 道 事 業 会 計	51,703	△1.5
	水道事業費用	37,116	1.7
	資本的支出	14,587	△8.9
	下 水 道 事 業 会 計	162,111	△13.5
	下水道事業費用	98,537	△0.3
	資本的支出	63,574	△28.1

当初予算額の推移(一般会計)



令和7年度 予算の概要

町議会3月定例会で令和7年度当初予算が可決されました。一般会計が99億2,000万円、特別会計が24億3,790万円、企業会計が21億3,814万円で、総額は144億9,604万円となり、前年度から11億1,786万円の増となりました。令和7年度当初予算の概要についてお知らせします。